

事務事業評価シート

計画対象年度	令和元年度								
事務事業名	霞ヶ浦中地区公民館コミュニティ活動事業（政策）						事業類型	イベント・行事・各種講座教室等	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	社会教育法、市地区公民館運営規則
			10	04	02	16	政策経費		
総合計画体系	7. みんなでつくる連携と協働のまちづくり						総合計画対象	対象	
	(1) 市民活動の支援						市民協働	共催	
	1 コミュニティづくり						担当課係等	霞ヶ浦中地区公民館	
①コミュニティづくりの推進						学習担当			
事業期間	継続（ 年度～ ）								

現状把握の部 (D0)

【目的】 行政が考え、準備したものに市民が参加するという従来の方式ではなく、地域の課題や財産をキーワードに、市民自らが企画提案した特色あるコミュニティ事業を市民と行政（中学校区ごとの地区公民館）が市民協働の関係で事業展開していく中で、市民のまちづくりへの関心と市政への参加意識の向上を図るとともに、地域づくりの担い手の発掘・育成の機会の創出、地域コミュニティの活性化を目指す。	【関連事業】 他地区の公民館コミュニティ活動事業、公民館講座事業、歴史博物館運営事業、生涯学習市民協働事業	
【期待される効果】 市民のまちづくりへの関心と市政への参加意識の向上。地域づくりの担い手の発掘・育成。地域コミュニティの活性化。市民協働型行政運営のモデル化。	【対象者】 原則各中学校区単位の地区公民館内の地区住民	
【全体概要】 霞ヶ浦中地区公民館（下大津支館・美並支館・牛渡支館・佐賀支館・安飾支館・志土庫支館の6支館）の各種公民館コミュニティ活動。幼児から高齢者まで幅広い年齢層の住民が交流・参加できる身近な事業を提供することで、地域住民と協力しながら学習や意識の啓発を行い、親睦と融和を進め、更には地域振興を図る。	【特記事項】 ライフスタイルや地域コミュニティに対する考え方の多様化に加え、小学校の統廃合により、体育祭、球技大会など、従来の事業の進め方では困難なものが出てきている。一方、下大津桜まつりや牛渡まつりなど、支館（地区）オリジナルの新しい企画が、コミュニティ推進委員主導で立ち上がってきており、それらの新しい動きを大切にしてい	
【平成30年度 事業内容】 球技大会、移動講座、ハイキング、歩く会等、6支館共通の事業に加え、桜まつり、牛渡まつり、クリスマスをお祝い、ラジオ体操事業、地域活性化講座、防災講座、いってみっかサロンなど、支館独自の事業にも取り組む。	【令和元年度 事業内容】 球技大会、移動講座、ハイキング、歩く会等、6支館共通の事業に加え、桜まつり、防災講座、みんなで歌おうクリスマス、いってみっかサロン、牛渡まつりなど、支館独自の事業にも取り組む。	【令和2年度 事業内容】 球技大会、移動講座、ハイキング、歩く会等、6支館共通の事業に加え、桜まつり、防災講座、みんなで歌おう！、いってみっかサロン、牛渡まつりなど、支館独自の事業にも取り組む。また、3中地区公民館合同研修会等を計画。

■事業費

		H30年度	R01年度	R02年度	
財源	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	一般財源・その他	3,200	5,037	6,811	
歳入計（千円）		3,200	5,037	6,811	
歳出	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）	
	01 報酬	0	2,336	0	
	08 報償費	620	459	3,171	
	09 旅費	26	23	18	
	11 需用費	798	872	968	
	12 役務費	115	135	187	
	14 使用料及び賃借料	1,641	1,104	2,467	
	18 備品購入費	0	108	0	
	歳出計（千円）（A）		3,200	5,037	6,811
	（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 35.21 予 2.66
職員人工数		2.00	1.70	1.60	
職員人件費（B）		15,034	13,179	12,487	
総事業費（A）＋（B）		18,234	18,216	19,298	

■指標

種類	指標名	単位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	コミュニティ推進委員会議の開催回数 (全体会議3回+6支館×7回※部門会議含む。)	回	目標	45.00	45.00	45.00
			実績	41.00	42.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	事業参加者人数	人	目標	3,500.00	3,500.00	3,500.00
			実績	2,787.00	2,353.00	0.00
	支館独自の事業(企画)	事業	目標	6.00	6.00	6.00
			実績	7.00	6.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市総合計画に基づいている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 コミュニティ活動は、市民と行政が市民協働の関係で事業展開していくものであり、さらに市民相互の交流や相互扶助意識など地域の連帯感を生む重要なものなので、一定の税金を投入することは妥当性がある。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民と行政が互いに意識改革することにより、成果を向上させる可能性はある。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 地区民のコミュニティ活動の場がなくなってしまうことにより、地域の衰退につながる恐れがある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 平成28年4月から、霞ヶ浦地区の公民館が統合され「霞ヶ浦中地区公民館」となった。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 人件費は、職員3名で6支館(地区)の事業を行っており、支館独自の新たな事業を増えてきているため、削減の余地はない。事業費においても、支館独自の事業展開により、増加傾向にあるため、削減は難しいと考える。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 地区公民館活動であるため、その地区を対象とした事業が多いが、それをもって一部の受益者に偏っているとは考えられない。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	地域の課題や財産をキーワードに、地区公民館を主体とした市民協働型のコミュニティ活動を通して、魅力ある地域づくりを推進するとともに、地域の担い手の発掘、育成を図る。
1次評価(1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策))		記入者: 生涯学習課長 仲澤 勤
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) コミュニティ推進委員と市民協働の関係を維持した事業の運営を進める。既存事業の見直しを積極的に行うことで、時代ニーズに合った新たな「公民館」を検討する。		
2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策))		記入者: 教育部長 田崎守一
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		
担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じ場合も記入) コミュニティ推進委員と市民協働を意識した関係を維持して事業運営に当たる。		

事務事業評価シート

計画対象年度	令和元年度							
事務事業名	霞ヶ浦中地区公民館講座事業（政策）						事業類型	イベント・行事・各種講座教室等
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令 社会教育法、公民館設置及び管理等に関する条例施行規則
			10	04	02	17	政策経費	
総合計画体系	7. みんなでつくる連携と協働のまちづくり						総合計画対象	対象
	(1) 市民活動の支援						市民協働	行政の関与
	1 コミュニティづくり						担当課係等	霞ヶ浦中地区公民館
③コミュニティ活動の推進						学習担当		
事業期間	継続（ 年度～ ）							

現状把握の部 (D0)

【目的】 市民の多種多様なニーズに応じた講座・催しを開講し、学びたい・楽しみたい・発表したいなどの自己実現の場を提供するとともに、学ぶことを通して、生きがいづくり・仲間づくりなど、その後の人生が心豊かな充実したものになるよう支援していく。	【関連事業】 千代田中・下稻吉中地区公民館事業、文化芸術振興事業、生涯学習市民協働事業
【期待される効果】 生きがいづくり、仲間づくり、健康づくり、健康寿命の延伸、青少年の健全育成、地域コミュニティの拡充など	【対象者】 全市民（講座受講者）
【全体概要】 霞ヶ浦中地区公民館講座の企画及び開講を行う。講座受講生の学習成果の発表の場を設ける。講座受講後、できる限りサークル活動へ移行するよう支援する。	【特記事項】 費用対効果の観点からも、講座の閉講で終わりではなく、受講後もサークル活動へ移行できるような講座を中心に開講すべきであり、内容について市民のニーズを十分に把握する必要がある。また、文化協会担当部署と連携し、サークル化した後、文化協会に加盟するようなメリットや流れを検討し、働きかけていく必要がある。
【平成30年度 事業内容】 市民のニーズに応じた各種講座を開講する。講座終了後はその活動の成果を「ふれあい生涯学習フェア」など、発表の場を設けるとともに、講座受講生による同好会化、サークル化の支援を行う。	【令和元年度 事業内容】 市民のニーズに応じた各種講座を開講する。講座終了後はその活動の成果を「ふれあい生涯学習フェア」など、発表の場を設けるとともに、講座受講生による同好会化、サークル化の支援を行う。
【令和2年度 事業内容】 市民のニーズに応じた各種講座を開講する。講座終了後はその活動の成果を「ふれあい生涯学習フェア」など、発表の場を設けるとともに、講座受講生による同好会化、サークル化の支援を行う。	

■事業費

		H30年度	R01年度	R02年度	
財源	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	一般財源・その他	860	1,025	3,002	
歳入計（千円）		860	1,025	3,002	
歳出	節（番号＋名称）	金額（千円）		金額（千円）	
	08 報償費	473	438	648	
	09 旅費	1	0	0	
	11 需用費	23	36	35	
	12 役務費	20	10	20	
	14 使用料及び賃借料	343	541	344	
	15 工事請負費	0	0	239	
	18 備品購入費	0	0	1,716	
	歳出計（千円）（A）		860	1,025	3,002
	（参考）		当初予算額	1,073	当初予算額
職員人工数		1.15	0.80	0.85	
職員人件費（B）		8,645	6,202	6,634	
総事業費（A）＋（B）		9,505	7,227	9,636	
		伸び率(%)		決 192.8 予 186.7	

■指標

種類	指標名	単位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	講座の開設数	講座	目標	19.00	19.00	19.00
			実績	17.00	15.00	0.00
	当初からサークル化を目指した講座数	講座	目標	8.00	8.00	8.00
			実績	8.00	8.00	0.00
成果 指標	講座の年間受講率	%	目標	75.00	75.00	75.00
			実績	115.59	89.18	0.00
	講座終了後、サークル化した講座数	講座	目標	3.00	3.00	3.00
			実績	1.00	1.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市総合計画に基づいている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 多様な学習機会や世代間の交流の場の提供などにより、市民の教養の向上や健康の増進を図り、生活文化の振興や社会福祉の増進に寄与するため、行政が生涯学習に係る講座を実施することは妥当である。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 時代に即した様々な講座の開設を検討していく。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 地域や世代間交流の衰退や公民館などの社会教育施設の利用者減少が懸念される。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 他部署における類似事業を実施している場合には、連携を図ることは可能である。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 事業費のほとんどが講師謝礼であるため、削減余地はない。また、人件費は他事業と兼務しているため、削減は難しい。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 講師謝礼は、受講料(受益者負担)で成り立っているため、公平・公正である。講座内容については、幅広い年代が受講できるような内容を検討していく。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	受講後に自主的なサークルや同好会活動を行なっていけるような講座、また世代間が交流しやすいような内容のものを検討するとともに、自主活動の場を提供していく。
1次評価(1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策))		記入者: 生涯学習課長 仲澤 勤
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 講座終了後も学んだことを継続して学習できるよう、サークル化や文化協会連携などの環境整備に努める。		
2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策))		記入者: 教育部長 田崎守一
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		
担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じ場合も記入) 講座終了後も学んだことを継続して学習できるよう、サークル化や文化協会連携などの環境整備に努める。		